

平成28年度事業報告
(自 平成28年4月1日 ～ 至 平成29年3月31日)

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

□ はじめに - MOA美術館改修工事の完了とリニューアルオープン

竣工から 34 年を経過したMOA美術館の改修工事を実施した。工事に伴い、平成 28 年 3 月 7 日より休館、約 11 ヶ月間の工期を経て、平成 29 年 1 月 20 日完成・引き渡しを受け、2 月 5 日、リニューアルオープンした。

一般公開に先立つオープニングセレモニー・レセプションに、宮田亮平文化庁長官、水落敏栄文部科学副大臣、齊藤栄熱海市長をはじめとする内外の要人約 600 名が集い、リニューアルした美術館が門出した。

リニューアルオープン後、年度末までの開館日 51 日間で 83,000 余名の入館者を迎え、新しくなった美術館で美術品の鑑賞と共にメインロビーからの景観、各施設の見学、見学後の飲食などを楽しんでいただいた。

工事に伴う休館中には、所蔵の「十一面観音立像」が重要文化財の指定を受け、移動美術展や出張美術セミナー等のアウトリーチ事業および熱海市と一体となった芸能イベント実施等を中心に館外活動を展開した。

箱根美術館については、通常通り、通年の開館運営を行った。

I. 美術館運営事業

1. MOA美術館プレ・オープニング諸行事の実施

工事を終え、立入可能となった施設の内覧会や改修説明講座を実施した。また、完成・引き渡しを受けて、平成 29 年 2 月 5 日のリニューアルオープンに先立ち、博物館・美術館関係者をはじめ有識者・協力者を迎えてオープニングレセプション・特別内覧会を実施した。

(1) 内覧会・改修説明講座等

- ① 近隣観光業者・熱海市民対象の内覧会 (平成 29 年 1 月 18 日 参加者数 91 名)
- ② 京都造形大学「藝術学舎」講座 (平成 29 年 1 月 28 日 参加者数 43 名)
- ③ 友の会会員・寄付者・協力者対象の内覧会 (平成 29 年 2 月 4 日 参加者数 10,155 名)

(2) リニューアルオープニングレセプション・内覧会

- ① 各国外交官対象レセプション・内覧会 (平成 29 年 2 月 2 日 参加国数 4 ヶ国 18 名)
- ② 各界有識者・美術関係者対象レセプション・内覧会 (平成 29 年 2 月 3 日 参加者数 504 名)

2. 展覧会の開催

MOA美術館をリニューアルオープン後 51 日、箱根美術館を年間 310 日開館運営し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ、所蔵する日本及び東洋の美術品を中心に特別展、企画展、平常展および館外展を開催した。

(1) MOA美術館（総入館者数 95,285 名 ※プレオープン期間を含む）

① 平成 29 年 2 月 5 日～3 月 14 日（期間入館者数 67,226 名）

リニューアル記念名品展 + 杉本博司「海景——ATAMI」

出陳件数 77 件

リニューアルオープンを記念し、創立者・岡田茂吉のコレクションの中から尾形光琳の代表作として知られている国宝「紅白梅図屏風」や、野々村仁清の最高傑作として名高い国宝「色絵藤花文茶壺」等、厳選した名品の数々を展覧した。加えてリニューアルの設計を担当した杉本博司の現代美術も展観。

② 平成29年3月17日～4月25日（期間入館者数 37,693名）

奇想の絵師 岩佐又兵衛 山中常盤物語絵巻

出陳件数52件

リニューアルオープンを記念し、奥州へ下った牛若を訪ねて都を旅立ち、山中の宿で盗賊に殺された母・常盤御前の仇を牛若が討つという筋書きで、全長150メートルを超える長大な絵巻物『山中常盤物語』全12巻を3年ぶりに一堂に展観した。

(2) 箱根美術館（総入館者数135,748名）

① 常設展示

○ 平成28年4月1日～平成29年3月31日

重要文化財1件を含む94件からなる、縄文から江戸時代に至る日本古陶磁を中心とした常設展示を開催した。

○ 別館において、第1展示室にてMOA岡田茂吉賞受賞作家の作品10点を展示した。そして、年間を通して創立者岡田茂吉が提唱した事業を、解説及び写真パネル等により紹介した。

② 小企画展

○ 平成28年4月1日～平成29年3月31日

桃山時代の茶陶を中心に38件からなる企画展「茶の湯の道具展」を開催した。

(3) 館外展の実施

① MOA美術館所蔵 人間国宝展

会場：起雲閣（熱海市指定有形文化財 静岡県熱海市昭和町 4-2）企画展示室

期間：平成 28 年 10 月 1 日（土）～平成 28 年 10 月 30 日（日）

人間国宝の作品 11 点を展観

主催：熱海市

② 東日本大震災復興支援 MOA 美術館名品展

会場：郡山市立美術館（福島県郡山市安原町字大谷地 130-2）

会期：平成 28 年 11 月 5 日（土）～平成 28 年 12 月 11 日（日）

MOA 美術館所蔵の美術品 44 点を展観

主催：郡山市立美術館、MOA 美術館、福島民報社

③ MOA 美術館所蔵 吉田博木版画展

会場：名古屋ポストン美術館（愛知県名古屋市中区金山町 1 丁目 1-1）

会期：平成 29 年 1 月 14 日（土）～2 月 26 日（日）

MOA 美術館所蔵の吉田博木版画約 80 点を展観

主催：名古屋ポストン美術館

3. 賛助会員（友の会）の募集

(1) 会員数 11,626 名

4. その他

(1) 季刊誌の発行

① 財団の活動を広く知らせるための「MOA 美術館 美の友」誌を、4 月・7 月・10 月・1 月の 4 回発行し、MOA 美術館来館者と友の会会員に配布した。

(2) 美術品や美術品画像データ等の貸出と意匠の許諾など

① 美術品の貸出しを、別紙資料 1 の通り行った。

II. 表彰・コンクール事業

1. MOA 美術館児童作品展

美を通して心の教育、「美育」を進めていくべく、家庭、地域、学校と連携し、日々取り組んでいる創作活動を奨励することで、「生命を尊ぶ心」「心豊かな人間」形成を目的として第28回MOA美術館児童作品展を実施した。

(1) 選考方法

① 地方展：実行委員会による地方展が国内390会場、海外31会場で開催され、応募作

品462,001点から各会場が行う審査会において最優秀作品を決定した。

- ②全国展：地方展で選ばれた各会場最優秀作品をMOA美術館に集め、文部科学省教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、書道協会会員等で構成される全国展審査委員会において、全国展入賞入選作品300点を選考し、文部科学大臣賞などの各賞を決定した。

(2) 賞の種類と点数

① (個人の部)

賞名	絵画	書写
(a) 文部科学大臣賞	6点	6点
(b) 外務大臣賞	3点	—
(c) 厚生労働大臣賞	1点	1点
(d) 農林水産大臣賞	1点	1点
(e) 日本PTA全国協議会会長賞	1点	1点
(f) 全国子ども会連合会会長賞	1点	1点
(g) ボーイスカウト日本連盟理事長賞	1点	1点
(h) 審査員賞	1点	1点
(i) 金賞	5点	3点
(j) 銀賞	20点	5点
(k) 銅賞	30点	10点

② (団体の部)

- (a) 文部科学大臣賞学校奨励賞 6校 (8,514校中)

平成16年より、学校・地域・家庭ぐるみの豊かな情操教育の充実に寄与し、優秀な作品を多く輩出している小学校に対して、文部科学省から文部科学大臣賞学校奨励賞を以下の6校に下付。

北海道	小清水町立	小清水小学校
静岡県	熱海市立	第一小学校
大阪府	大阪市立	清水丘小学校
和歌山県	海南市立	内海小学校
広島県	尾道市立	三幸小学校
沖縄県	うるま市立	城前小学校

- (b) 厚生労働大臣賞 2 児童作品展実行委員会

児童作品展を中心に、地域の医療機関での作品展示、ボランティア協力、地域のコミュニティー施設等での日本文化の実践等を通じて、子どもたちの健全なる育成に寄与する活動をしている実行委員会に対して、厚生労働省より厚生労働大臣賞を、以下2 児童作品展実行委員会に下付。

福井県鯖江児童作品展実行委員会

島根県雲南地域児童作品展実行委員会

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

- ①表 彰：表彰式を平成 29 年 2 月 19 日（日）に、農林水産省生産局長 枝元 真徹氏、外務省大臣官房文化交流・海外広報課 上席専門官 高山美果氏他の来賓を迎え、館内能楽堂に於いて開催した。
- ②展覧会：平成 29 年 2 月 5 日～2 月 28 日 於：当館 1 階会場
- ③後 援：文部科学省、外務省、厚生労働省、農林水産省、日本ユネスコ国内委員会、公益社団法人日本 P T A 全国協議会、公益社団法人全国子ども会連合会、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、全国新聞社事業協議会、公益財団法人海外日系人協会、全国連合小学校長会
- ④図 録：全国展の入賞作品、感想文、歴代受賞者の歩みをおさめた「第 28 回 M O A 美術館全国児童作品展」の図録を作成し、関係者に配布した。

Ⅲ. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

美術館開館日に、茶の庭や茶室、茶道具等に触れて抹茶を喫する茶の湯を通して日本文化を体験する事業を、M O A 美術館の茶の庭内の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭において行うとともに、当館及び外部における茶会などを行った。

(1) 茶会

① 第 31 回光琳乾山忌茶会（参会者数 512 名）

創立者の構想に基づき造営した京都広沢池畔・平安郷において、尾形光琳、尾形乾山の命日に因み、顕彰する茶会を開催した。

期 日： 平成 28 年 6 月 2 日 321 名 ・3 日 191 名

会 場： 京都・平安郷 嵯峨広沢池畔

席担当： 濃茶席 正木美術館

薄茶席 大阪美術青年会

薄茶席 M O A 美術館

② 初釜

箱根（参会者数 80 名）

期 日： 平成 29 年 1 月 17 日

会 場： 箱根神仙郷・山月庵

(2) 体験プログラム（お茶、お花など）

① 旅行社とタイアップした茶室見学・体験（平成 29 年 2 月 5 日～3 月 31 日）

日経カルチャー、クラブツーリズム等をはじめとする各旅行社とタイアップし、MOA美術館の「光琳屋敷」や茶室「一白庵」のガイドツアーを実施し、日本の伝統的な建築・庭園空間を五感で味わい体験する取り組みを行った。なお、このガイドツアーの内容は、近隣観光施設の従業員研修や東海地区の教育者・美術愛好者グループの研修にも活用され、その受け入れを行った。

(3) 版画「東海道五十三次」や「紅白梅図屏風」を活用した出張美術セミナーの実施

- 平成 28 年 6 月 5 日 世界一かわいい美術館（富山市）（110 名）
- 6 月 7 日 ふれあいみんなの館・さばえ（60 名）
- 6 月 19 日 所沢市民文化センター ミューズ（480 名）
- 6 月 20 日 宮城県登米市迫公民館（20 名）
- 6 月 24 日 滝川市美術自然史館（198 名）
- 6 月 24 日 砂川市地域交流センター・ゆう（145 名）
- 6 月 26 日 北海道立函館美術館（650 名）
- 7 月 6 日 阿波市交流文化施設アエルワ（400 名）
- 7 月 16 日 川崎市生涯学習プラザ（64 名）
- 10 月 19 日 伊達市伊達東地区交流館（20 名）

IV. 主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及と芸術鑑賞会を通じた情操教育として、能楽堂における定期演能会やフロアコンサート、まちと協働する薪能等の公演を行った。

(1) 定期演能会（入場者数 340 名）

- 期日 平成 29 年 3 月 11 日
- 演目 能 「高砂」宝生流 宝生和英 他
- 狂言 「昆布売」大蔵流 善竹十郎 他

(2) あたみ湯ったりアート 2016 あたみ海辺の薪能

- 会場： 熱海サンビーチ特設会場
- 主催： あたみ湯ったりアート 2016／あたみ海辺の薪能実行委員会／公益財団法人岡田茂吉美術文化財団
- 期日： 平成 28 年 10 月 14 日・15 日
- 後援： 熱海市、熱海市教育委員会、熱海市観光協会、熱海商工会議所、熱海温泉ホテル旅館協同連合会、(株)エフエム熱海湯河原、(株)伊豆急ケーブルネットワーク、熱海新聞、伊豆毎日新聞
- 企画協力： 水の緑プロジェクト

① 初日（平成 28 年 10 月 14 日 入場者 1,487 名）

演目／出演者

常磐津「熱海名所」ほか／芸妓置屋連合組合

新作能舞「海」／辰巳満次郎 他

舞踊・常磐津「夕月船頭」／花柳あらた 他

能 宝生流「高砂」／辰巳満次郎 他

他

② 二日目（平成 28 年 10 月 15 日 入場者 2,487 名）

演目／出演者

常磐津「熱海名所」ほか／芸妓置屋連合組合

長唄囃子による一調一管「月と海と」／福原 寛 他

新作能舞「月」／辰巳満次郎 他

素浄瑠璃 常磐津「乗合船恵方万歳」／常磐津文字兵衛 他

能 宝生流「融」／辰巳満次郎 他

ピアノ & チェロ／リベロバ

他

2. 主催講座

(1) 光輪花クラブ 会員数 10,899 名

花の美を楽しみながら情操を養い、生活をより美しくし、豊かな生き方ができることを願いとして、いけばなの講座を実施した。

(2) 花サロン 会員数 108 名

生活の器を工夫して花を楽しむあり方を提案する 6 回型光輪花講習会を実施した。

3. 主催セミナー

(1) 源氏物語文学セミナー（開催数 10 回 参加者総数 1,300 名）

①開催日：

平成 28 年

4 月 21 日、5 月 19 日、6 月 23 日、7 月 21 日、9 月 22 日、10 月 20 日、11 月 17 日、12 月 15 日（於：熱海起雲閣）

平成 29 年

2 月 21 日、3 月 21 日（於：能楽堂）

②講 師：羽深恵美

V. 育成事業

1. 平成28年度文化庁補助事業 伝統文化親子教室（掛川市、日本工芸会共催）

(1) 掛川市内の小学校で、工芸家による授業の実施

平成28年9月10日 掛川市立横須賀小学校6年生（40名）

講師：室瀬和美（漆芸家・重要無形文化財保持者）

内容：漆のスプーンに自由な絵柄で蒔絵を施す

平成28年10月29日 掛川市立西郷小学校6年（46名）

講師：大角幸枝（金工家・重要無形文化財保持者）

内容：錫の円板に釘と金槌で模様をつけ、木槌で叩いて皿の形を作る

2. スクールプログラム

(1) 紅白梅図屏風（複製）などを活用した出張授業

平成28年6月21日 南陽市宮内小学校6年生（70名）

10月13日 鳥取県立米子高校2年（40名）

12月6日 帯広市立若葉小学校4年生（84名）

12月6日 帯広市立第4中学校2年生（100名）

12月7日 石狩市立花川南小学校5年生（80名）

平成29年2月14日 伊豆の国市立修善寺中学校（仏像について）（150名）

2月24日 三島市立中郷西中学校（131名）

(2) 版画「東海道五十三次」を活用した出張授業

平成28年5月10日 前芝小学校（38名）

5月11日 岡崎市立矢作南小学校（146名）

5月11日 岩倉南部中学校（107名）

5月12日 名古屋市立有松小学校（241名）

5月12日 羽島市立正木小学校（160名）

5月13日 岐阜市立木田小学校（60名）

5月13日 岐阜市立三輪北小学校（35名）

6月27日 小樽市立最上小学校（209名）

6月27日 小樽市立入船小学校（178名）

6月29日 八戸市立白銀小学校6年（35名）

6月29日 八戸市立明治中学校（98名）

6月30日 下北郡佐井村立佐井小学校3～6年（52名）

7月1日 十和田市立藤坂小学校（150名）

7月5日 高松市立円座小学校（730名）

- 7月 5日 観音寺市立常盤小学校 6年 (60名)
- 7月 6日 吉野川市立川島中学校 (50名)
- 7月 7日 高知市立神田小学校 5、6年 (200名)
- 7月 7日 高知学園中学校 (100名)
- 7月 7日 高知市いの町立枝川小学校 6年 (80名)
- 7月 8日 松山市立垣生小学校 5、6年 (288名)
- 7月 8日 松山市立みどり小学校 5、6年 (190名)
- 9月 10日 八王子市立中山中学校 (200名)
- 9月 15日 桜井市立桜井西小学校 6年 (50名)
- 9月 15日 大和高田市高取町立たかむち小学校中学校 2年 (200名)
- 10月 11日 藤枝市立稲葉小学校 (26名)
- 10月 18日 吹田市立千里丘北小学校 (1000名)
- 10月 20日 郡山市立桃見台小学校 6年 (40名)
- 11月 17日 三田市立狭間中学校 2年 (100名)
- 11月 18日 和歌山市立明和中学校 (1000名)
- 12月 19日 飯塚市立大分小学校 (80名)
- 12月 19日 嘉麻市立嘉穂中有学校 (88名)

(3) 教職員を対象としたプログラム

教育委員会と共催して「教職員対象の研修」と「市民対象の鑑賞会」を、講演と版画東海道五十三次による対話型鑑賞授業を実施した。

- 平成28年 8月 4日 玉野市日の出ふれあい会館 (22名)
- 8月 17日 岡山県生涯学習センター (105名)
- 8月 21日 雲南市庁舎 (25名)
- 8月 22日 出雲市庁舎 (55名)
- 8月 23日 福山市立図書館 (33名)
- 8月 24日 尾道市立吉和小学校 (24名)
- 10月 13日 かけがわ教養館 (42名)

3. MOA美術館児童合唱団の充実と体制整備

合唱と美術鑑賞を合わせて楽しむことによって、音楽教育における感性育成を目的とした児童合唱団の活動を行った。

改修工事により美術館施設が使用できなかった期間中は、近隣の協力施設を借用して活動を継続し、熱海市民文化祭をはじめとするコンサート出演等も行った。

(団員数 10名、活動日数 40日 コンサート等出演数 5回)

4. 花による美育活動の推進—MOA美術文化インストラクターの育成と資格の付与

- (1) インストラクター数 4,956名

- (2) インストラクターの資質向上を図る研修会を、美術館及び各地区で開催
- (3) インストラクター更新研修（年1回）を各地で実施
- (4) 新規インストラクター審査を実施し、新たに232名に資格付与

VI. 経営基盤の拡充

1. 経営改善

- (1) 顧客満足循環型経営への改善（職員によるワークショップの充実）
 - ①平成 29 年 2 月のMOA美術館リニューアルオープンに向けて勉強会を随時実施し、職員の意識づくりとその向上に務めた。
- (2) 観光客の誘致・誘客の改善強化など
 - ①熱海市内及び近郊施設への「前売り券」取扱い箇所の増加への取組みを行った。
 - ②熱海寮保養所協会との特別提携を行った。
 - ③熱海市内宿泊施設に対して、宿泊施設対象「特別入館チケット」の取組みを行った。
- (3) コスト削減と増収に向けた経営改善計画案などの策定
コスト削減に向けた改革に努め、本年の削減目標を達成した。
- (4) 寄付金制度（ファンドレイジング）の推進
公益財団法人への寄付を行った方への税制優遇措置について、平成 28 年 8 月に税額控除対象法人の申請を行い、平成 29 年 1 月 5 日付けで認定を受けた。

2. 入館者増加をめざした取り組み

- (1) MOA美術館リニューアルオープンに焦点をあてた広報・営業活動の推進
 - ① ホームページの更新
 - (a) 展覧会をはじめイベント行事などの情報を、早めにアップするように努めた。
 - ② フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど SNS の充実
 - (a) 展覧会の見どころ、イベント情報などをリアルタイムでアップ。
 - (b) 「フォロワー」の獲得数をバロメーターに、内容充実に努めた。
 - ③ マスコミへの情報提供
 - (a) 展覧会、催し物等の情報を積極的に配信し、マスコミ等への取材協力を努めた。
 - ④ ポスター掲示・チラシ配布
 - (a) MOA美術館展覧会イベントポスターを年間 6 回作成し、熱海市内 373 か所及び全国 259 か所に掲出依頼。
- (2) 地元市民に開かれた美術館に向けての取り組み
 - ① 熱海市・熱海市観光団体（観光協会、ホテル旅館協同組合、商工会議所）との連携強化を図った。

② 熱海市の秋のプロモーション事業に参画し、あたま湯ったりアート 2016 あたま海辺の薪能を開催した。開催内容については、主催公演と同様。

③ 熱海市行事受入

平成 29 年 1 月 8 日 熱海市成人式

1 月 15 日 熱海ジュニアグランプリ表彰式

2 月 7 日 熱海市地震防災講演会

(3) ホームページの改修

MOA美術館ホームページのリニューアルを行い、旬な情報やピックアップ、動画なども入れ込み、改修のコンセプトや四季、食事処などを掲出し、スマホにも対応できるように新たな見せ方を行った。

3. MOA美術館友の会の拡大

入館者の増加を図り、加えて美術館活動の財政基盤となる「友の会」の拡大を図るため、各地で「友の会茶会」、「友の会美術セミナー」の開催や友の会会員ダイアリー、リニューアル記念品の進呈を実施し、友の会会員の増加に努めた。

(1) 神奈川 友の会茶会

開催日：平成 28 年 5 月 21 日

会 場：三溪園

参加数：250 名

(2) 兵庫 友の会茶会

開催日：平成 28 年 11 月 13 日

会 場：姫路文学館

参加数：206 名

(3) 友の会美術ツアー

開催日：平成 28 年 9 月 15 日

行き先：石川県

参加数：29 名

(4) 友の会美術ツアー

開催日：平成 28 年 11 月 15 日

行き先：佐賀県

参加数：20 名

(5) リニューアル記念品「重文 十一面観音立像」クリアファイルの進呈

4. 施設の貸与事業

茶室（一白庵、真和亭）、能楽堂などを、伝統文化の普及をはじめ当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人への施設の貸出を積極的に行う。

(1) 茶室の貸出

① 第 32 回光琳茶会

(a) 開催日：平成 29 年 2 月 22 日・23 日

(b) 席主

青々庵：濃茶席 くりはら栗庵（東京）

樵亭：薄茶席 吉田梅露庵（東京）

一白庵：薄茶席 MOA 美術館

(c) 参加者：404 名（内訳：2 月 22 日 200 名、同 23 日 204 名）

(2) 能楽堂の貸出

① 熱海市成人式

期日：平成 29 年 1 月 8 日

主催：熱海市・熱海市教育委員会生涯学習課

② 熱海ジュニアグランプリ表彰式

期日：平成 29 年 1 月 15 日

主催：熱海市青少年健全育成市民会議

③ 新作能「利休一江之浦」

期日：平成 29 年 2 月 12 日

主催：公益財団法人小田原文化財団

④ 熱海市地震防災講演会

期日：平成 29 年 2 月 7 日

主催：熱海市危機管理課

講師：竹内直人（元宮城県警本部長）

演題：東日本大震災への対応～宮城県警の活動状況～

5. 美術館設備・施設（庭園を含む）改善・改修

(1) MOA 美術館改修工事の実施

冒頭に記した通り、平成 28 年 3 月から平成 29 年 1 月まで MOA 美術館改修工事を実施し、鑑賞環境、お客様サービス環境、展示環境、美術品保全環境等の向上改善を図った。

この度の改修では、プロジェクトマネジメントを山下 PMC に委託し、展示室・ロビーエリアのデザインと基本設計を現代美術作家杉本博司氏と建築家榊田倫之氏が主宰する新素材研究所に、施工を竹中工務店が担当した。

主な改修箇所および改修内容を以下に記す。

① 展示室・展示ケース

- ・ 向い合わせの展示ケースの映り込みを防ぐ黒漆喰壁の設置
- ・ 展示室の吸音のため、2 階は床をカーペット張り、1 階は天井を吸音板を使用
- ・ 展示ケースには低反射で透明度の極めて高いガラスを使用

- ・ 展示ケース内の展示台には樹齢千数百年以上の古木等を使用し、極薄の免震装置を導入
- ・ 展示ケース内に敷く畳は、美術品保全上紙製の畳を使用
- ② 2Fメインロビー・1Fロビー
 - ・ 自然な微光実現のために天井の色や形状デザインを変更
 - ・ バリアフリー化のため2Fメインエントランスの階段にスロープを設置
 - ・ 1Fロビーにカフェコーナーを設置
- ③ 自動ドア
 - ・ エントランスおよび館内各所の扉 17 箇所を自動化
 - ・ 2Fメインエントランスには重要無形文化財保持者室瀬和美氏に依頼し、漆塗りの大型自動扉を導入設置
- ④ 空調設備
 - ・ 従来より展示ケース内の温湿度を一定化可能な空調設備に改装
- ⑤ 昇降機（エレベーター・エスカレーター）
 - ・ 館内エスカレーターの全面的なオーバーホールを実施
 - ・ 館内エレベーターを従来の油圧式からロープ式に改装
- ⑥ レストランスペースの改修と多目的室の設置
 - ・ レストランスペースの広さを適正化
 - ・ 余剰スペースに多目的室（スタジオ）を設置
- ⑦ トイレ
 - ・ 多機能トイレを館内各階に増設
 - ・ 既存のトイレの洋式化
- ⑧ セキュリティーシステム
 - ・ 館内バックヤード施設への出入口にカードキー式のオートロックを設置
- ⑨ 館内通信環境
 - ・ お客様の利便性向上のため、館内の Wifi 環境を整備するとともに、業務用 Wifi トランシーバーも導入
- ⑩ その他
 - (a) 円形ホール「万華鏡」投影設備の設置
 - ・ ドーム型の天井に投影する型の万華鏡設備を設置
 - (b) 切符売り場とエントランスホール
 - ・ 切符売り場の内装を更新
 - ・ エントランスホール受付カウンターの形状を変更
 - ・ 本館3Fエントランス前の車イス用スロープ幅を拡張
 - (c) 茶の庭
 - ・ 光琳屋敷に隣接する「花の茶屋」を和食店舗用に改装
 - (d) 本館外壁面
 - ・ 補修とクリーニングを実施

(2) 美術館の安全確保に向けた対策

MOA美術館については、上記、改修工事以外の内容を、また箱根美術館については全般を記す。

① 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての改善・改修

(箱根美術館)

(a) 本館、真和亭トイレをウォッシュレットに改修した。

② 美術館の防災、防犯の設備強化

(MOA美術館)

(a) 平成28年10月13日に実施された地域の総合防災訓練に職員が参加した。

また工事完成引き渡し後の平成29年1月30日に職員防災研修会を実施し、新施設における避難導線の確認、防災備品の確認等を行った。

(b) 休館日の防犯体制強化の為、休館日における入館受付・警備を警備会社に依頼・実施した。

③ 危機管理体制の整備・強化

(MOA美術館)

(a) 法令および内規に基づき、特定個人情報（マイナンバー）の収集・利用・保管・廃棄における適正管理運用を行った。

(箱根美術館)

(a) 行政や関連機関と連携して防災マニュアルを作成し、防災備品の確保や避難訓練を実施した。

6. 飲食及び物品販売

(1) MOA美術館飲食コーナーの運営

観覧者に美術鑑賞をゆったりと楽しんでいただくための周辺環境の整備として、リニューアルオープンと同時に、以下、直営2店舗の運営を開始し、飲食の充実を図った。

① 和食・甘味 花の茶屋

和食・和のスイーツを提供

② the café

サンドイッチ、菓子パン、シフォンケーキ等の軽食およびコーヒー等ドリンク類を提供

(2) ミュージアムショップの運営

① 箱根美術館売店

箱根美術館の開館日に営業を行った。

以上

□ 処務報告事項

1. 理事会並びに評議員会開催の件

- 理事会を平成 28 年 4 月 1 日より平成 29 年 3 月 31 日迄に 2 回開催した。
- 評議員会を平成 28 年 4 月 1 日より平成 29 年 3 月 31 日迄に 1 回開催した。

(1) 理事会に関する事

開催年月日		会議事項	
H. 28. 6. 10	議案	平成 27 年度 事業報告及び決算報告承認の件	可決
H. 28. 6. 10	議案	監事選任の件	可決
H. 29. 3. 29	議案	平成 29 年度 事業計画書及び収支予算書承認の件	可決
H. 29. 3. 29	議案	平成 28 年度の事業報告 (リニューアルオープンの経過等)	可決

(2) 評議員会に関する事

開催年月日		会議事項	
H. 28. 6. 29	議案	議長及び議事録署名人選出の件	可決
H. 28. 6. 29	議案	平成 27 年度 事業報告及び決算報告承認の件	可決
H. 28. 6. 29	議案	監事選任の件	可決

2. 職員異動の件

- (1) 採用職員 1 名
- (2) 退職職員 3 名
- (3) 職員数

	職員	㏍・男	㏍・女
計	43	26	17

以上